

庁議の概要

開催日 平成 28 年 8 月 23 日（火）

◎項 目

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

◎内 容

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

総務部が取りまとめた各部署等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部署等による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ 集落活動センターの取り組みの推進について

（中山間対策・運輸担当）

昨日、集落活動センターに関する地域支援企画員研修会を開催した。新任の地域支援企画員を対象に、集落活動センターの経済活動に対する支援として、地域資源を活用した経済活動に関するケースメソッドを実施した。

既設の各集落活動センターの経済活動について、先週、各地域本部の振興監から、地域アクションプランとの関係を持たせるなどの戦略について話を聞いたところ。明確な方向性のあるセンターがある一方で突破口を見出せないセンターもあるので、もう少し詰めていただくことにしている。

（知事）

集落活動センターは、その効果をいかに地域地域に均てんさせていくかの拠点である。そのため、独自で何らかの柱を打ちたてるか、それが難しければ成長戦略・地域アクションプランとタイアップすることも十分有意義なことだと思う。両面の対応を。

（中山間対策・運輸担当）

両面から考えていただいている。

○ 教員採用選考審査について

（教育委員会）

教員採用選考審査第2次審査を実施している。今は、大量退職・大量採用の時代であり、今年は全校種合わせて257名の採用を予定している。そのため、今年から、受審資格の年齢制限を従来の39歳から49歳までの引き上げ、大阪の受験会場の設置、再任用の積極採用により対応している。受審資格の年齢制限の引き上げによる効果もあり、応募者数も昨年度より86名増加している。特に課題となっている中学校の数学について、去年より30名程多い応募が来ているので、少し効果も出てくると期待している。

○ 最後に知事から以下の話があった

（知事）

9月に開催する産業振興計画フォローアップ委員会に向けては、第1半期の実行状況

についてしっかり確認することと、来年度以降のバージョンアップに向けた大きな方向性を検討すること、この2つが大きなポイントとなる。

バージョンアップに力点を置く年、その着実な実行に力点を置く年のそれぞれあり、例えば第2期から第3期に変わる昨年はバージョンアップに重点を置いていたが、今年は着実に実行することが大事となる。バージョンアップしたポイントについて、着実に実行段階に入っていることを専門部会、フォローアップ委員会に向けてしっかりお示しできるようにお願いしたい。

また、その他の部局においても、健康長寿県構想や中山間対策等それぞれバージョンアップをしており、9月議会において、しっかり実行体制に入ったことを示していくことが大事となる。フォローアップ委員会も含め、チェック&バランスの観点からの厳しいチェックに対して、しっかりと答えできるように、計画や構想に掲げたことについては必ず実行しその結果を出すのだという姿勢でもって臨み、実行体制を整えていくことが大事となるので、よろしくお願いしたい。